

令和 4 年度

事業報告書

社会福祉法人 溪明会

目 次

I. 事業結果	
1. 法人体制	2
2. 令和4年度 事業運営評価と課題	2
3. 法人人事	4
4. 入札	4
5. 事業実績	4
II. 令和4年度 事業所取り組み結果	
障害者支援施設 溪明園からまつ	6
障害者支援施設 溪明園あすなろ	6
多機能型事業所 溪明園めるへん	7
障害者支援施設 花椿きらめき	8
障害者支援施設 花椿あおぞら	9
多機能型事業所 花椿かがやき	9
ホームやつわ、ホームあやこ、ホームいすぎ	10
ホーム柴田屋、ホーム柴田屋みなみ、ホーム庄川、ホーム庄川第2	11
日中サービス支援型ホームごごみ	11
放課後等デイサービス事業所 きつずる一むクローバー	12
放課後等デイサービス事業所 きつずる一むごごみ	12
障がい者サポートセンターきらり(相談系事業)	13
障がい者サポートセンターきらり(障害者就業・生活支援センター事業)	13
砺波圏域障害者基幹相談支援センター 委員会	13 15
III. 統計資料	
1. 法人本部	18
2. 障害者支援施設 溪明園からまつ、障害者支援施設 溪明園あすなろ	21
3. 多機能型事業所 溪明園めるへん	24
4. 障害者支援施設 花椿きらめき、障害者支援施設 花椿あおぞら	26
5. 多機能型事業所 花椿かがやき	29
6. グループホーム(ホームやつわ、ホーム柴田屋、 日中サービス支援型ホームごごみ)	31
7. 放課後等デイサービス事業所 きつずる一むクローバー	32
8. 放課後等デイサービス事業所 きつずる一むごごみ	34
8. 障がい者サポートセンターきらり	36
9. 砺波圏域障害者基幹相談支援センター	37

I 事業結果

令和4年度は、前年度に引き続きコロナの影響により、主だった行事、外部研修等が中止または延期され、とりわけ利用者には帰省や外出等、大きな制約を強いることとなった。また、利用者、職員のコロナ感染者が多数あり、クラスターも発生した。これに伴い、感染対策・対応費用の増加や、事業所を運営するための支援人員の確保に苦慮した。対応した職員は自らの危険を顧みず利用者の支援にあたり、結果自身の感染を招く職員も多数いたが、福祉職員としての強いプロ意識のもと、その使命を果たした。

このような環境下において、障害福祉サービス事業の利用率が伸び悩む状況であったが、新規の重度者支援加算等の取得により収入実績は一定額を確保することができた。

費用に関しては、先に触れたコロナに関するものがかかり増し費用として増加した。富山県からその費用に係る補助金が500万円余あったが、他600万円余は法人負担となった。また、ロシア、ウクライナ戦争等により水光熱費、燃料費等が高騰するなか、その一部が補助金として事業所所在市より援助があった。

職員が安定して働くことができるよう、常勤の有期雇用契約者を職員への身分変更を制度化したり、出産への祝金や病気療養に対する見舞金を創設した。人材確保はインターネットの活用、人材紹介、就職説明会への参加、新聞等への折込などを実施したが、多種多様職種で人材が不足していることからタイムリーな対応に苦慮した。

直近の法人運営に影響しない余裕資金については、従来の定期預金の他に満期保有目的の債券による資産運用を行った。運用期間の長期化によるリスクを避け、2年以内程度の債券を中心に保有し、一定の運用益を確保することができた。但し、保有する債権には令和5年3月のクレディスイス銀行の信用問題などによる影響が懸念されることも考えられるため、引き続き適切な情報収集や対応を行っていく必要がある。

1 法人体制

(1) 理事会・評議員会等

理事会を3回（内1回は書面議決）、評議員会を1回、監事監査を1回開催。

(2) 会議

会議名	参加者	内容	開催
経営委員会	理事長、本部室長、エリアマネージャー等	経営及び事業の進捗状況の確認	毎週
運営委員会	経営委員に加え、オフィスリーダー等	事業所毎の経営及び事業の進捗の確認	毎月
各種委員会	各委員	テーマ毎に協議	随時
支援担当（生活支援、日中活動支援等）会議	事業所毎	利用者個々のニーズに対応すべサービス体制協議	毎月

2 令和4度 事業運営評価と課題

(1) 安定した経営基盤の確立

主たる収入である障害福祉サービス収入は、定員の充足、利用率及び加算に左右されるが、コロナにより帰省等が制限されることで、利用率を一定水準で保った反面、長期入院者やコロナクラスター発生により当該月は利用率を持続することが難しい状況であった。但し加算については制度について研究し理解を深め、取得意識が高まったことで、多くの事業所で前

年を上回る収入が確保できた。

経費の削減に向けては、電気代、燃料代が高騰したことにより同費用は増となった。

経営状況については、毎月定期開催した運営委員会で収入実績等の情報を共有するとともに、四半期毎に収支状況等について確認を行った。

(2) 利用者本位の支援の確立

虐待防止委員会にて、虐待防止の体制及び法人と事業所の役割について検討協議を重ね、規程及びマニュアルを策定した。また、虐待防止に関するチェックを職員対象に毎月実施し、現状を確認すると共に、適切な支援のあり方について定期的に考える機会とした。

(3) 将来を見据えた施設整備計画の策定、計画的な整備

経営基盤の充実を図るために、今後の施設のあり方について検討するための3つの特命チームを設置し、検討を重ねた。

1) 溪明園からまつあすなろ再編

溪明園の老朽化に伴う安全な支援の実施に向けて、大規模な改修等による再編を検討するが、その費用が法人保有資金及び借入返済能力を超えることから、行政へ資金援助を含め相談した。また、“再編計画”の名称を“再整備計画”へ変更した。

2) 高齢者等対策

各事業所が有する利用者の高齢化への課題について、現状の確認、整理を行った。新規事業、建設には課題も多く更に慎重に検討を重ねる必要がある状況であった。既存のグループホームの改修、設備整備やスタッフ体制の見直しなどの機能強化については、実現可能なものから取り組むこととした。

また、介護保険との連携、介護保険施設等へのスムーズな移行が必要であり、その体制に向けた提言を行った。

3) 花椿日中活動再編

事業所を新築する場合の工事費概算見積額が1億1千万円余であった。しかし、花椿に隣接する候補地他が沼地であることや雨水の敷地内流入等の恐れがあること、また、溪明園の再編が法人優先課題として位置づけられていることから一時、検討を保留し、現状の通所事業を継続することとした。

また、再検討時は地域の生活介護事業所とのすり合わせや構成、運営についても考慮の必要性を確認した。

(4) 人材・育成

コロナ禍により集合研修の実施及び参加が難しいことから、オンライン研修の受講により知識や技術の向上と人材育成を行った。

キャリアパス制度である溪明ロードは、半期の振り返り及び面談等の職員負担が大きいことや、コロナによるクラスター発生によりその実施方法に課題があった。

常勤の有期雇用契約職員が安定して定年まで働くことができるよう、職員への身分変更を制度化し、令和5年度から実施することとした。

(5) 業務管理、情報提供、作業効率化

業務の効率化として「ムリ」「ムラ」「ムダ」を無くすよう周知を行った。各種会議、委員会、研修等はWEB（ZOOM）開催により、移動にかかる労力、時間、経費等が削減された。

デジタル化による効率化の検討をDX/BPR委員会にて行った。現状の業務システムの改善、新たなシステムの導入を検討するが費用が課題として確認された。

(6) 地域との交流連携の推進

コロナにより外部の出入りを制限したり、地域行事の開催見合わせ、外出等を控えたことにより、交流の機会を作れなかった。溪明会及び障害者の理解促進活動についても同様であった。

社会福祉法人 手をつなぐとなみ野との連携協力事業として障害者への理解、啓発として北陸銀行の3つの支店ロビーにて合同作品展「オンリーワン～身近な芸術家たち～」を開催し、好評を得た。また、研修の相互参加を計画したが、コロナによる研修会自体の中止が相次ぎ、実施できなかった。

(7) 持続可能な経営

法人基本理念の実現に向け、職員に第2次中期経営計画（2020）を周知し、進捗状況について定期的に報告することで啓発した。

また、法人ホームページに、各事業所のイベントその他トピックを随時掲載し、事業所情報を公開することで透明性を図った。

3 法人人事

(1) 役員等改選

無し

(2) 職員

身分	採用	退職
職員	6人	4人
臨時職員	6人	3人
パート職員	14人	14人

4 入札

花椿はなの通りトイレ改修工事

総事業費：13,680千円（税抜）

指名4業社により入札を行うが、結果(2回)が予定価格に達しないため、最低入札業者の榊横川組と随意契約を行う。

溪明園エレベーター更新

総事業費：16,700千円（税抜）

入札に3社を指名するも2社辞退し、(株)三菱ビルシステムズと随意契約を行う。

5 事業実績

(1) 施設入所支援事業

利用率	令和2年度	令和3年度	令和4年度
障害者支援施設 溪明園からまつ	88.6%	88.8%	87.0%
障害者支援施設 溪明園あすなろ	97.6%	89.1%	90.7%
障害者支援施設 花椿きらめき	99.1%	99.0%	99.0%
障害者支援施設 花椿あおぞら	99.8%	100.0%	99.0%

(2) 生活介護事業

利用率	令和2年度	令和3年度	令和4年度
障害者支援施設 溪明園からまつ	88.7%	88.8%	86.9%

障害者支援施設 溪明園あすなる	97.6%	90.1%	90.8%
多機能型事業所 溪明園めるへん	88.7%	98.7%	92.8%
障害者支援施設 花椿きらめき	89.2%	91.0%	90.0%
障害者支援施設 花椿あおぞら	84.4%	94.0%	91.0%
多機能型事業所 花椿かがやき	72.0%	72.0%	82.0%

(3) 就労継続支援B型事業

利用率	令和2年度	令和3年度	令和4年度
多機能型事業所 溪明園めるへん	100.1%	91.3%	89.9%
多機能型事業所 花椿かがやき	99.0%	71.0%	88.0%

(4) 短期入所事業

延べ利用者数	令和2年度	令和3年度	令和4年度
障害者支援施設 溪明園からまつ	38人	35人	30人
障害者支援施設 溪明園あすなる	0人	109人	11人
障害者支援施設 花椿きらめき	62人	156人	137人
障害者支援施設 花椿あおぞら	195人	0人	67人
日中サービス支援型 ホームごごみ	9人	38人	---

(5) グループホーム事業

利用率	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ホームやつわ	85.3%	90.4%	93.9%
ホーム柴田屋	96.2%	95.3%	97.6%
日中サービス支援型 ホームごごみ	65.8%	91.9%	88.3%

(6) 放課後等デイサービス事業

利用率	令和2年度	令和3年度	令和4年度
放課後等デイサービス事業所 きつずるむくろーむ	85.0%	105.7%	107%
放課後等デイサービス事業所 きつずるむごごみ	---	62.3%	102.0%

(7) 相談支援事業、障害児等療育支援事業

高齢化した障害のある方が必要とするサービスをスムーズに利用できるよう関係機関と連携しながら介護保険サービスへの移行支援を行った。また、障害特性に応じた支援を行うため、本人のニーズに合ったサービスが利用できるよう意思決定支援を行い、圏域内にとどまらず、圏域外の関係機関とも連携し支援を行った。

(8) 障害者就業・生活支援センター事業

就職相談者を就労系の障害福祉サービスにつなげるケースが多く、一般企業への職場実習あっせん件数や就職件数が伸び悩んだ。

地域における関係機関とのネットワーク形成のための会議や研修会においては、新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、集合型で開催し、関係機関との連携強化を図った。

(9) 障害者基幹相談支援センター事業

令和2年より3市から基幹相談支援センターの運営を受託し、本年度で3年が経過した。砺波圏域における障がい者や家族及びその支援者、また障害福祉サービス事業所、行政及び関係機関等に対して、総合的、専門的な相談支援、相談支援体制の強化等を実施しており、同事業について認知されてきた。

II 令和4年度 事業所取り組み結果

障害者支援施設 湊明園からまつ

1 実施事業

入所支援事業（40名）、生活介護事業（40名）、短期入所事業（空床型）、日中一時支援事業

2 取り組み内容と評価

1) 感染予防取り組みの強化

- ・ 食堂、居室等、生活環境を整える。

新型コロナウイルス感染予防のため、食堂の各テーブルの配置を見直し、パーテーションを増設し、食事前手洗いの励行と手指消毒、館内の消毒、換気を徹底した。しかし、11月には事業所内に新型コロナウイルスクラスターが発生し、ほとんどの利用者が感染した。以降は、小集団となるよう生活空間を分け、大勢での密な接触を控えることで感染予防対策を強化し、またプライバシー保護に努めた。

2) 高齢者や精神障害の多様な支援の質の向上

- ・ 高齢者の安全面に配慮する。精神障害のある人等の障害特性を理解し、支援の質の向上に努める。

食事の際の誤嚥のリスク低減に向けて、栄養士、看護師からとろみの付け方、食事中の姿勢等についての勉強会を行い、職員間の共通理解のもと支援に活かした。また、移動中及び階段事故防止に向けて、整備した防犯カメラの録画記録をもとに改善策を検討した。

精神障害により対応が難しい利用者へは、しっかりと話を聞き、その思いに寄り添った支援を心掛けた。また、利用者間の問題は事業所会議で対応策を検討し、改善に向けて実行したり、必要に応じて医療機関と連携対応し、落ち着いた生活を送られるよう留意した。

3) 定員確保とニーズに沿った支援のための地域連携

- ・ 相談支援員等との連携を密に行い、事業所との情報交換をする。

相談支援事業所からの空き状況の問い合わせ等に対し、その時点での事業所の利用状況を説明した。コロナ禍ではあったが、要望のある方へは面談を実施し、短期入所の体験を経て、2名の契約に繋がった。一方で、退所者も同数あり、前年実績を上回れなかった。

障害者支援施設 湊明園あすなろ

1 実施事業

入所支援事業（30名）、生活介護事業（30名）、短期入所事業（空床型）、日中一時支援事業

2 取り組み内容と評価

1) 感染症予防対策の強化

令和4年度も、新型コロナウイルス感染状況が落ち着かなかつたため、外部との接触を制限し、利用者の帰省は原則中止した。保護者等との面会は、6月からリモートで実施した。9月末以降は窓越しでの面会を可能にした。

感染防止のために、手すり、ドアノブなど、手に触れる部分、及びデイルームや居室などの床の消毒を毎日行うとともに、食堂に飛沫防止のパネル等を追加設置した。また、感染時を想定したゾーニングを検討した。しかし、11月には事業所内に新型コロナウイルスクラスターが発生した。

2) 強度行動障害等への取り組みと支援スキルの向上

強度行動障害の利用者への支援について、毎日の支援手順書への記録、毎月の事業所会議等において、毎月の取り組み等の現状の確認や支援の再検討を行った。看護師を含め、職員の情報共有と支援の統一を図ることができた。

強度行動障害の利用者に対して、研修委員会で事例検討を7月と2月に開催し、利用者の支援とその後の行動変容について、からまつ事業所の職員も含め事例検討会を通じて理解を深めることができた。

3) 利用者のストレスの軽減と安定した生活

コロナ禍で帰省が制限されたことから、保護者とのリモート面会により、ストレスの軽減を図った。

また、利用者の日常生活に潤いを感じられるよう毎月1回以上、昼食会、或いは調理実習、おやつ作りを行った。その他月2回程度バスハイク等を実施した。また季節の行事として、小旅行、夏祭り、ミニ溪明園祭、ミニ年越しそば会食、厄払いを企画実施した。

保護者へは、毎月お便りで、利用者の様子を伝えた。

一人の時間や空間を希望される利用者へは、プライベート空間を確保し、居室内の生活環境を整え、一人で取り組める活動を提供した。また寒さ対策として、居室の生活空間を整えたり、ミニヒーターを設置した。

多機能型事業所 溪明園めるへん

1 実施事業

生活介護事業（7名）、就労継続支援B型事業（13名）、日中一時支援事業

2 取り組み内容と評価

1) 冷凍パンのインターネット販売を行ない、収入に繋げる。

- ・冷凍販売用のパンを製造し、ネット販売に繋げる。クッキーにおいては年間8000個の売り上げを目指す。

インターネット販売では、ふるさと納税の推進サイト「さとふる」に商品を登録することで、クッキーの受注が入った。「さとふる」は小矢部市やさとふるサイトが受注受付や発送、問い合わせ対応などを代行し、大きな手間なくスムーズに出荷できた。さとふるサイトでの売り上げ増加に繋がる研修会にも参加した。「さとふる」以外でのインターネット販売の方法についても調査したが、パンやクッキーなど食品の販売に対して品質管理等のハードルが

高いこと、梱包費、送料等のコストが上乗せされることから、実現には至らなかった。クッキーは大口受注等が好調で、260 円のクッキーだけで年間 9800 個の売上があり、目標を達成することができた。

- ・ SNS での配信を定期的に行い、活動の周知と集客に繋げる。

令和 4 年の 5 月に菓子工房メルヘンのインスタグラムを開設し、商品の紹介やイベントの予定等を発信した。より多くの方に事業所の活動や商品について周知ができた。

2) 利用者の活動意欲向上と充実度をアップさせる。

- ・ 農作物（さつまいも）の栽培・収穫・販売を行ない、本人支給金に繋げる。

生活介護事業の利用者へ、さつまいもの栽培による生産活動プログラムを提供し、収穫時に達成感を味わうことができた。収穫したさつまいもは焼きいもとして農業祭や、法人内の事業所で販売したほか、菓子工房メルヘンのパンの材料に使用した。本人支給金には至らなかったが、売上金を年度末の慰労会を兼ねた外出時の飲み物やスイーツ代に充て、還元した。

障害者支援施設 花椿きらめき

1 実施事業

入所支援事業（30 名）、生活介護事業（40 名）、短期入所事業（併設型 2 床+空床型）、日中一時支援事業

2 取り組み内容と評価

1) 健康で生き生きとした、潤いのある暮らしづくりで幸福度を高める実践

コロナの影響で活動が制限された中で、利用者が健康的で潤いのある生活ができるよう取り組んだ。ボッチャやペガールボールはルールが簡単で、これまでより多くの利用者が参加でき、室内でもみんなが生き生きと楽しめ、活動の幅が広がった。

誕生会では、事前に利用者で絵を描いたり、飾りつけをしたりお祝いの準備を通して共に喜び、また飲食しながら、祝福した。

環境整備班のメンバーを中心に、プランターに花を植えて水やりなどの世話をを行い、その生育を見守り楽しんだ。また中庭で、日光浴や飲食ができるよう、木材のテーブル、イスを購入して昼食会やバーベキューを行うなど、外で過ごす時間が増えリフレッシュに繋がった。

2) 農作業でつながる地域交流の実施

コロナ禍のため、例年実施してきた井口保育園とサツマイモの栽培等を通じた交流はできなかったが、花椿の農園で育てたサツマイモを保育園に届けた。例年作付けしている大根の生産に関しては、今年度はコロナ禍の影響もあり、計画的に進めることが出来ず断念することとなった。次年度は可能な範囲で作付けしたい。

3) 花椿通所の独立した事業所づくり・生活空間の個室化

新型コロナの感染症対策としてゾーニングの視点から、入所、通所の各支援活動の場を分けてサービスを提供した。また、花椿の新規通所事業所について、会議を重ね再建場所等を検討し、図面(案)を作成し提案したが、湊明園の再編が優先課題であることから、一時保留となった。同事業所は、法人内の生活介護事業所等とすり合わせや構成、運営について方向性を考慮していく必要がある。再検討までの期間は現在の花椿通所の体制を継続することとする。

居住棟の個室化増設等の検討までには至らなかった。

障害者支援施設 花椿あおぞら

1 実施事業

入所支援事業（30名）、生活介護事業（40名）、短期入所事業（併設型2床+空床型）、日中一時支援事業

2 取り組み内容と評価

1) その人らしく、豊かで実り多い人生を送るために

コロナの影響で活動が制限される中で、利用者が個々に自分らしく過ごせる活動に取り組んだ。利用者のニーズに対応し、季節に応じた装飾作り、ミニ花椿祭、プチイベントを開催し、物心両面で満足頂ける活動が実施できた。月に一度の昼食会、おやつ作り、お茶会等では、利用者の笑顔も見られた。一方で、肥満気味の利用者には、今以上に運動を取り入れたり、カロリーを考慮した昼食会、おやつ作りに心がけるよう努めたい。

当番活動や環境美化等の、奉仕の機会に利用者「ありがとう」と感謝を伝えるよう心掛けたことで、利用者からも自然に「ありがとう」と言葉が出てくるようになった。

2) 花椿自主製品の安定した供給、農福連携の推進対面販売実施へ

井口地域とのつながりを大切に、ニンニク及び、黒豆生産、収穫の部分を生産組合に委託して製品づくりを行った。毎年経験することで利用者自身も作業内容の手順を理解し手際よく作業が出来るようになった。作業マニュアルを完成させ、活用することで、スムーズな運営に繋がった。

旬菜市場ふくの里で梅干し、黒豆、にんにく、大根のビール漬けを販売し、リピーターも増えてきた。商品の欠品が相次ぎ、売れ行きは好調であった。地域での対面販売については職員で参加した。

3) 花椿通所の独立した事業所づくり・生活空間の個室化

新型コロナの感染症対策として、ゾーニングの視点から、入所と通所の活動の場をそれぞれ分けてサービスを提供した。また、花椿の新規通所事業所について、会議を重ね再建場所等を検討し、図面(案)を作成し提案した。同事業所は、法人内の生活介護事業所等とすり合わせや構成、運営について方向性を考慮していく必要がある。再検討までの期間は現在の花椿通所の体制を継続する。

女性居住棟の2人部屋、個室化増設等の検討までには至らなかった。

多機能型事業所 花椿かがやき

1 実施事業

就労継続支援B型事業（17名）、生活介護事業（14名）

2 取り組み内容と評価

1) 自主製品の安定的な製造販売及び新たな事業展開による工賃の向上を目指す。

味噌製造量は60kg/年、売上げは年間約20万円であった。就労継続支援B型での活動から生活介護での活動に変更し取り組んだが、その他の創作活動やボランティア団体としての活動もあることから、集中的に味噌製造に取り組む時間が確保できなかった。一方で、地域の施設等への営業活動が結実し、新規納入先を開拓することができた。

今後、味噌製造については、製造期間を12月から3月の寒仕込みとし、再度就労継続支援B型事業の取り組みに変更する。

また、新たな商品開発として、こし味噌・味噌玉作りに挑戦したが、商品化にはいたらず、

次年度以降もチャレンジしたい。

弁当製造については、旬菜市場ふくの里・法人内部事業所の他に、ロコミ等により一般企業からの注文もあり販路拡大、工賃向上につながり、平均工賃 18,042 円と前年度より 7 千円アップした。

2) 地域とのつながりを大切に、交流を通して開かれた施設を目指す ～SDGs への挑戦～

生活介護でつながりのある cotae ネットワークを介して、フクシ×アートのコラボレーション活動として、コラボガチャを勝興寺、雨晴道の駅、高岡市美術館（いずれも高岡市）に設置し、利用者作品を、夢のある商品として地域の方に購入いただく機会とすることができた。また、慣例の地元児童クラブとの交流会「八塚教室」でも、コラボガチャで取り組んだ缶バッジ作りを提案したところ、好評を得ることができた。

奉仕活動としては、南砺市社会福祉協議会の依頼により「憩いのステーション縁の木」での装飾ボランティアや、他ボランティア団体との協同事業による古切手収集に新たに取り組んだ。地域のごみ拾い散歩も継続し、地域交流を図っている。

3) 利用者個々の心身の状況や思いに寄り添い、充実した生活を送れるようサポートする

軽体操 週5回 介護アロマ、アート活動

毎朝、軽体操することで、怪我防止、筋力アップに繋がった。好天時は、ウォーキングを取り入れ、身体をほぐすことで作業意欲を高めた。また、心身のリフレッシュを図るため、介護アロマを活用し、音楽を取り入れながらエッセンシャルオイルでハンドマッサージをすることで、リラックス効果が得られた。

アート活動では、県の障害者芸術活動支援センターのコーディネートにより、他業種と連携し、“ご当地フォント”という活動に取り組み、利用者の作品が商品として生まれ変わり、ロイヤルホテル富山砺波の 25 周年記念や、魚津酒造のお酒のラベルに当用されたことで、利用者及びそのご家族の自信や喜びにつなげることができた。特に魚津酒造とのコラボ商品の“sonomama”はマスコミにも取り上げられ、一般販売され好評を博した。

ホームやつわ、ホームあやこ、ホームいすぎ

1 実施事業

共同生活援助事業（19名）

2 取り組み内容と評価

1) 世話人研修の充実

- ・学習会、研修会の機会を設ける。

内部研修として虐待防止に関する研修を実施した。職員が講師となり虐待防止の基本的な事項を中心に、わかりやすい内容にまとめ、ポイントを絞って研修を行った。また、研修委員会主催のアンガーマネジメントならびに高齢者支援に関する各研修への参加を促し、多数の世話人が参加した。

2) ホーム見守り体制の強化

- ・グループホームの日中見守り体制の充実。

ホームやつわならびにホームあやこに防犯カメラを設置し、怪我等があった場合に画像を確認できるような環境を整えた。幸い防犯カメラの画像を確認するケースは認められなかったが、予防と再発防止に役立つ環境を整備することができた。

平日の日中にホーム居残り利用者に対応するため、職員が弁当を配食する体制を整えると

共に、併せてその際に利用者の健康状態等を確認した。また、土日や祝日に職員が支援に入り買い物や散髪の同行や衣類整理などを行った。

ホーム柴田屋、ホーム柴田屋みなみ、ホーム庄川、ホーム庄川第2

1 実施事業

共同生活援助事業（23名）

2 取り組み内容と評価

1) 体験メニューの拡充及び地域生活支援拠点等事業の検討

- ・体験メニューの素案作成

支援度の高い利用者への対応を優先的し、体験メニューや地域生活支援拠点等事業を見据えた検討より先行して、ホームの全利用者が毎日を穏やかに、気持ちよく暮らすために、ホームにおける必要な決め事やルールのマナーの確認を行った。

9月に「ホームの決まり事」としてハンドブックを作成し、利用者に配布・説明を行った。

2) 障害特性に合わせた支援プログラムの見直し

- ・発達障害者の特性について研修会を実施

11月に知的・発達障害の特性についてオンライン研修を行い、発達障害について理解を深めた。また、高齢期への準備について毎月検討し、日課や支援プログラムを見直した。

3) コロナ禍に合わせた生活スタイルの構築

- ・ホーム内でできる娯楽・癒し時間の提供

リビングにブルーレイレコーダーを設置し、自由に閲覧できる番組数を増やし、コロナ禍でも充実した余暇時間が過ごせるよう環境を整えた。また、利用者へ買い物アンケートを実施し、グループホームの新たなプログラムとして買い物代行を取り入れた。

日中サービス支援型ホームごごみ

1 実施事業

共同生活援助事業（20名）、短期入所事業（2名）

2 取り組み内容と評価

1) 職員の介護技術習得の取り組み

- ・職員の知識・技術を高め、高齢利用者への質の高いサービス提供を行う。

利用者(3名)が言語聴覚士による訪問リハビリを受け、ADL（心身機能、健康状態、生活環境等）の改善、身体機能や基本動作回復に向けたリハビリ運動等について学び、個別指導を通して適切な対応による知識や技術の向上を図った。また、安心安全なサービスの提供を目指し、オンラインまたは外部講師招聘にて、介護施設におけるリスクマネジメント、てんかん、認知症、口腔ケア等の各研修に参加し、理解を深めた。しかし、内部研修会や高齢者施設への見学はコロナ感染予防の観点から実施できなかった。

2) 救命講習の開催

- ・けがや病気があった際の応急処置、緊急対応の強化。

AEDを設置し、使用方法と心肺蘇生法について学んだ。避難訓練後には消防職員による救命入門コースに多数の職員が受講し、AED、心肺蘇生法を含む緊急時対応について学び、さらに理解を深めた。また、昨年導入した眠りスキャンの反応時におけるバイタルチェックの内容を再確認するとともに、転倒時、発作時、救急時等における対応についてマニュアルを

見直し、日々の利用者支援における意識を高めた。

放課後等デイサービス事業所きつずる一むクローバー

1 実施事業

放課後等デイサービス事業（10名）

2 取り組み内容と評価

1) 地域資源を活用したプログラム

- ・地域の図書館や体育館を利用したプログラムを提供する。
新型コロナウイルスの地域感染状況を踏まえ、感染予防を徹底して定期的に地域の図書館や体育館、公園を活用した。
- ・地域を巻き込んだ災害訓練を実施する。
火災訓練は隣接する店舗にも参加協力をいただいた。水害訓練では、避難場所として砺波東部小学校に協力を依頼した。また洪水避難訓練時は、砺波市行政出前講座による、洪水被害や避難の必要性を学んだ。年3回の訓練は、保護者への案内に加え、地域の町内会長や近隣宅に訓練実施についての情報と協力に関する文書を配布した。

2) 安定したプログラム提供

- ・業務継続計画（BCP）の協議作成を実施し、自然災害及び感染症発生時の対応ができる体制を整える。感染拡大時は、プログラムの変更や提供方法を変更できるように関係者との連携を密にする。
感染症などによる職員の体制が整わない場合は、エリア内外から職員応援体制を依頼、緊急な場合も体制が整うように事前準備及び連絡調整を密にした。
- 外部講師及び地域参加プログラム計画では、感染症拡大など不測の事態を想定し、複数のプログラムを準備し対応した。講師、関係者、ボランティアの状況に合わせて実施時期の変更など臨機応変に取り組んだ。

放課後等デイサービス事業所きつずる一む ごとみ

1 実施事業

放課後等デイサービス事業（10名）

2 取り組み内容と評価

1) スヌーズレンルームの有効活用

- ・利用者に癒しの時間を提供する。
- ・スヌーズレンルームについて理解を深めるための研修に参加する。
令和4年8月スヌーズレンルーム研修会にて「スヌーズレン活用の実際と可能性」「スヌーズレンと脳波について」「スヌーズレン体験および普及活動について」を受講した。落ち着いて静かに過ごす場所として限定せず、創作活動、ギター演奏での音楽鑑賞、その他レクリエーション活動の提供等、幅広い活用方法がある事を学んだ。また、実際に実施してみると利用者からも好評であり、多くの参加が見られた。今後も、癒しの時間以外での状況に応じて幅広く活用し、活動の充実につなげたい。

2) 利用者の送迎についての見直し

- ・希望者には、平日、学校休業日に関わらず、自宅への送迎を行う。
職員の1名増員、送迎車も1台増えたことで、ニーズに沿って自宅への送迎を行い、充実

を図った。自宅への送迎により、ご家族の方に喜ばれると共に、利用時間を明確に区分できたことで、業務改善にも繋がった。また、利用者同士が乗り合わせるため、車中での過ごし方にも工夫を凝らし、楽しみながら家路につくことができた。そのため、利用者同士の絆も深まり、ごみでの活動にも良い影響が見られた。

障がい者サポートセンターきらり（相談系事業）

1 実施事業

障害者相談支援事業、指定一般相談支援事業、指定特定相談支援事業、障害児相談支援事業、障害児等療育支援事業

2 取り組み内容と評価

1) 質の高い支援を行うための職員研修の推進

関係機関が開催する研修会に積極的に参加し、知識や技術の習得に努めた。また、砺波圏域障害者基幹相談支援センターとも連携し、事例検討会に参加した。主任相談支援専門員は砺波圏域の相談支援事業所の事例検討会にアドバイザーとして参加した。

2) 自然災害や感染症対策への対応力強化

BCP 策定委員会の検討をもとに事業所の BCP を作成中である。今後は運用に際して定期的に内容を見直し、必要な研修を行うことにより災害や感染症への対応力が強化できるようにしていく。

3) 地域生活支援拠点等の整備に向け体制を整える。

地域生活支援拠点等の事業所に登録し、受け入れについて整備を進めている。関係機関と連携しながら運用に際しての現状や課題について協議し体制を整える。

障がい者サポートセンターきらり（障害者就業・生活支援センター事業）

1 実施事業

障害者就業・生活支援センター事業

2 取り組み内容と評価

1) 支援スキル向上のため、チーム支援体制を強化

ケースがある都度、ケース検討会議を開催した。困難なケースに関しては、複数の職員が関わり、多角的な視点から支援方法を検討し、チーム支援体制の強化に努めた。

2) 質の高い支援を行うための職員研修の推進

障害特性に応じた質の高い支援を行うため、外部研修に積極的に参加し、知識や技術の習得に努めた。

3) 相談者のニーズを充足させるため、地域関係機関との連携を強化

連携が不可欠なハローワーク砺波や富山障害者職業センターとの連絡会議では、支援対象者の支援経過の共有や、困難ケースの対応についての意見交換等を行った。また、砺波圏域の障害者の就労支援に携わる福祉サービス事業所との研修会や会議を行い、顔が見える関係作りに努め、情報交換を通じて連携を図った。

砺波圏域障害者基幹相談支援センター

1 実施事業

障害者基幹相談支援センター事業（砺波市、小矢部市、南砺市 3 市委託事業）

2 取り組み内容と評価

1) 総合的・専門的な相談支援

障害者相談支援事業として、障害者またはその支援者等からの相談に応じるため相談窓口を設け、必要な援助及び専門機関の紹介を行った。また、総合的・専門的な相談支援として、障害のある人や家族、地域住民や関係機関から相談先等が分からない相談を障害の種別に関らず総合的に受ける窓口を設け、一緒に方法を検討し、相談支援事業所や行政に繋いだ。

2) 地域の相談支援体制の強化

圏域内の相談支援事業所に対する助言や情報交換・研修会の開催等を通して地域全体の支援力向上を目指すと共に、地域の福祉や医療・教育・就労等の関係機関との連携を図った。また、地域の社会資源に関する情報として、障害福祉サービス事業所ガイド、障害福祉サービス事業所一覧、サービス事業所紹介動画等を作成公開し、障害福祉サービスの利用促進に努めた。

3) 地域移行・地域定着の促進

病院や施設等からの地域生活の移行を促し、地域での生活を定着させるための業務を行った。また、施設や病院から退院・退所し、地域での暮らしを希望する人の相談に応じ、地域で安心して暮らせるよう関係機関と情報交換会を4年度から開催した。

4) 権利擁護・虐待防止に関する啓発

障害のある人や家族からの権利侵害（虐待等）に関する相談に応じ、成年後見制度や日常生活自立支援事業等の利用を促進すると共に、普及啓発のための業務を行った。また、令和4年度より全てのサービス事業所において、従事者への障害者虐待防止の研修が義務化されたことから、権利擁護・虐待防止委員会と連携して研修会を開催し、小規模な事業所の負担軽減と研修の促進を図った。

5) 自立支援協議会への参加協力

砺波地域障害者自立支援協議会の運営に協力するとともに、会議等へ参加した。令和3年度から運営会議の庶務、事業所連絡会の運営、権利擁護・虐待防止委員会の庶務等を担当し、令和4年度も同様に担った。また、センターのホームページを活用し、協議会の情報公開に努めた。

6) その他の事業

①基幹相談支援センター利用の促進

- ・センター事業説明
- ・ホームページによるお知らせ公開

②砺波圏域地域生活支援拠点等の整備への協力

砺波圏域における地域生活支援拠点等の整備に向けて、次の点に協力した。

- ・砺波圏域地域生活支援拠点等整備運営に関するガイドラインの改訂協力
- ・砺波圏域地域生活支援拠点等整備運営に関するガイドラインの説明協力
- ・地域生活支援拠点等認定申請事前相談協力
- ・地域生活支援拠点等認定申請事前ヒヤリング協力
- ・地域体制強化共同支援記録書に基づく地域課題の報告

令和4年度 委員会報告

令和4年度における法人各種委員会の年次報告を以下に記す（※ 事業報告書と一部重複記載）

1 虐待防止委員会

虐待防止委員会にて、虐待防止の体制及び法人と事業所の役割について検討協議を重ね、規程及びマニュアルを策定した。また、虐待防止に関するチェックを職員対象に毎月実施し、現状を確認すると共に、適切な支援の在り方について定期的に考える機会とした。

（事業報告書 P3（2）利用者本位の支援の確立 参照）

2 溪明園からまつあすなる再編

溪明園の老朽化に伴う安全な支援の実施に向けて、大規模な改修等による再編を検討するが、その費用が法人保有資金及び借入返済能力を超えることから、行政へ資金援助を求め相談した。また、“再編計画”の名称を“再整備計画”に変更した

（事業報告書 P3（3）将来を見据えた施設整備計画の策定、計画的な整備 1）溪明園からまつあすなる再編 参照）

3 高齢化対策

各事業所が有する利用者の高齢化への課題について、現状の確認、整理を行った。新規事業、建設には課題も多く更に慎重に検討を重ねる必要がある状況であった。既存のグループホーム改修、設備整備やスタッフ体制の見直しなどの機能強化については、実現可能なものから取り組むこととした。

また介護保険との連携、介護保険施設等へスムーズな移行が必要であり、その体制に向けた提言を行った。

（事業報告書 P3（3）将来を見据えた施設整備計画の策定、計画的な整備 2）高齢者等対策 参照）

4 花椿日中活動再編

事業所を新築する場合の工事費概算見積りが1億1千万円余であった。しかし、花椿に隣接する候補地他が沼地であることや雨水の敷地内流入等の恐れがあること、また、溪明園の再編が法人の優先課題として位置付けられていることから、一時検討を保留し、現状の通所事業を継続することとした。

また、再検討時は地域の生活介護事業所との擦り合わせや構成、運営についても考慮の必要性を確認した。

（事業報告書 P3（3）将来を見据えた施設整備計画の策定、計画的な整備 3）花椿日中活動再編 参照）

5 溪明ロード

現行溪明ロード（キャリアパス、自己評価システム等）を試行し、修正点を確認した。その他、法人研修計画の立案、権利擁護チェックシートの定期調査、職員満足度調査及び結果公表等を行った。研修会の未実施等の課題もあったが、権利擁護チェックシート調査では回答率が向上し、権利擁護意識の高まりを感じた。

(事業報告書 P3 (4) 人材・育成 参照)

6 DX/BPR策定推進

前年度までの業務改善委員会を改名し、実践業務の改善にとどまらず、既存の価値観、枠組みを根本から改革、または組織や制度についてもプロセス視点で、職務、業務フロー、管理システムについての見直しを目的に組織したが、主に現行の支援記録システム等の課題抽出と他社の機能比較検討に多くの時間を費やし、結論には辿りつかなかった。記録システム等の協議に終始したことで、結果業務全般にわたる DX/BPR の実践には至らなかった。

(事業報告書 P3 (5) 業務管理、情報提供、作業効率化 参照)

7 BCP策定

感染症対策のベースとなる計画書を策定したが、事業スタイルや規模等条件が異なる事業所毎の同計画書の策定が課題であり、クラスターでの経験から得られた反省、学びを事業所独自の計画に生かしたい。防災計画については、すでに事業所毎にマニュアル等が整備されており、防災訓練を通して有事への備えが必要である。

(事業報告書 P6 障害者支援施設からまつ 2 取組み内容と評価 1) 感染予防取組みの強化、P7 同あすなる 2 取組み内容と評価 1) 感染予防取組みの強化、P8 同きらめき 2 取組み内容と評価 3) 花椿通所の独立した事業所づくり・生活空間の個室化、P9 同あおぞら 2 取組み内容と評価 3) 花椿通所の独立した事業所づくり・生活空間の個室化、P12 放課後等デイサービス事業所きつずる一むクローバー 2 取組み内容と評価 1) 地域資源を活用したプログラム 2) 安定したプログラム提供、P13 障がい者サポートセンターきらり (相談系事業) 2 取組み内容と評価 2) 自然災害や感染症対策への対応力強化 参照)

8 となみ野連携協力会議

昨年度同様、研修部会、地域連携部会の 2 部会で構成した。研修部会は、コロナ禍でお互いが主催する研修会に参加することができなかった。地域連携部会は、北陸銀行砺波圏域 3 市の支店で、障害者アート作品展を開催し、好評を得た。

(事業報告書 P4 (6) 地域との交流の推進 参照)

令和 4 年度
事業報告書 統計資料

社会福祉法人 溪明会

Ⅲ 令和4年度 溪明会 事業報告 統計等資料

法人本部

1 役員構成

名称、定員	氏名
理事 6～7名	高嶋義則(理事長)、宮西聡(常務理事)、可部谷敏則、中山繁實、柳田由紀、福井靖人、土山美由紀
監事 2名	高瀬孝治、堀秋博
評議員 7～9名	榊悟常、清澤百合子、山本真由美、石崎篤二、尾崎順子、前田幸雄、直江喜美代、梶井美恵子、高藤孝一
評議員選任・ 解任委員 3名	高瀬孝治、福田秋美、中嶋明広
第三者委員 3名	水牧美耶子、渡邊美和子、吉田真理子
顧問 若干名	穴田清

2 役員会開催状況

1) 理事会

開催	議決事項	
第1回 6月14日	議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号 議案第6号 議案第7号	経理規程の一部改正について 就業規則の一部改正について パートタイマー等準職員の就業規則の一部改正について 育児・介護休業等に関する規則の一部改正について 令和3年度 社会福祉法人 溪明会 事業報告について 令和3年度 社会福祉法人 溪明会 計算書類の認定について 令和4年度 社会福祉法人 溪明会 第1回評議員会の開催について
第2回 2月20日	議案第8号	令和4年度 社会福祉法人 溪明会 資金運用計画について
第3回 3月28日	議案第9号 議案第10号 議案第11号 議案第12号 議案第13号 議案第14号 議案第15号 議案第16号	職員の身分及び処遇の見直し等について 虐待防止対応規程の制定について 運営規程の一部改正について 役員等賠償責任保険の加入及び法人の保険料負担について 令和5年度 社会福祉法人 溪明会 資金運用計画について 令和5年度 社会福祉法人 溪明会 事業計画について 令和5年度 社会福祉法人 溪明会 当初予算について 第三者委員の委嘱について

2) 評議員会

開催	議決事項	
第1回 6月28日	議案第1号 議案第2号	令和3年度 社会福祉法人 溪明会 事業報告について 令和3年度 社会福祉法人 溪明会 計算書類の認定について

3) 監事監査、評議員選任・解任委員会

開催	内容	
監事監査	5月26日	令和3年度 事業監査
評議員選任・解任委員会	---	---

4) その他委員会、会議

開催	内容	
経営委員会	33回	事業報告、連絡調整 業務方針の決定 その他
運営委員会	12回	事業報告、連絡調整 業務方針の伝達 その他
職員採用試験	5回	試験結果による採否検討

資金運用委員会	10回	効率的な資金運用方法の協議 資金運用計画の策定 有効な投資商品の選定 投資商品の購入、売却
---------	-----	--

3 職員配置状況

年度末事業所別職員配置状況

(単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総計	(183)	(186)	(192)	(197)
職員	(64)	(64)	(68)	(68)
嘱託	(7)	(9)	(7)	(8)
臨時	(27)	(33)	(32)	(36)
パート	(72)	(72)	(78)	(79)
他	(13)	(8)	(7)	(6)

4 収支、財務状況他

(単位：千円)

1) 事業活動収支

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
障害福祉サービス収益	815,363	855,141	869,829	891,607	995,280	1,044,644
その他	36,240	41,608	39,898	66,690	58,693	61,066
サービス活動収益計①	851,603	896,749	909,727	958,297	1,053,973	1,105,710
人件費	519,467	544,889	591,577	620,639	675,145	695,792
事務費、事業費	199,591	219,276	217,256	280,783	259,925	265,873
その他	46,961	45,788	47,443	56,409	71,471	79,546
サービス活動費用計②	766,019	809,953	856,276	957,831	1,006,541	1,041,211
サービス活動増減差額③=①-②	85,584	86,796	53,451	466	47,432	64,499
その他増減差額④	-164	785	299	6,200	-494	3,382
当期活動増減差額⑤=③+④	85,420	87,581	53,750	6,666	46,938	67,881

2) 障害福祉サービス等事業費収入

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
障害者支援施設 溪明園からまつ	147,473	149,206	154,861	141,379	140,564	153,656
障害者支援施設 溪明園あすなろ	156,223	161,226	158,005	158,657	147,886	154,277
障害者支援施設 花椿きらめき	135,413	140,351	147,798	151,083	160,026	163,991
障害者支援施設 花椿あおぞら	159,286	165,511	166,557	164,227	184,120	188,126
多機能型事業所 溪明園めるへん	44,345	43,492	42,631	40,117	41,444	40,166
多機能型事業所 花椿かがやき	63,283	62,316	60,661	45,070	42,316	50,446
ホームやつわ	36,939	41,008	38,868	40,885	44,217	45,862
ホーム柴田屋	40,257	43,728	50,854	56,497	58,678	60,908
日中サービス支援型ホームごごみ	--	--	--	33,209	92,672	93,725
放課後等デイサービス事業所 きつずるーむクローバー	--	11,663	16,313	17,913	25,344	25,792
放課後等デイサービス事業所 きつずるーむごごみ	--	--	--	--	13,424	24,588
障がい者サポートセンターきらり	32,144	36,640	33,281	42,570	44,589	43,107
計	815,363	855,141	869,829	891,607	995,280	1,044,644

3) 積立金

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人件費積立金	100,400	100,400	100,400	100,400	100,400	100,400
修繕費積立金	229,209	229,209	229,209	229,209	229,209	229,209
備品等購入積立産	47,382	47,382	47,382	20,100	20,100	20,100
建設積立金	618,867	699,035	655,748	365,729	366,291	269,832
工賃変動積立金	359	659	959	922	849	999
設備等整備積立金	3,214	3,948	3,771	3,771	3,102	4,339
積立金計	999,431	1,080,633	1,037,469	720,131	719,951	624,879

4) 資金運用状況

単位：円

種類	取扱先	商品名等	取扱日	投資額	状況	損益、年度配当
定期預金	大和初ス銀行	セットプラン	R4. 1. 14	100,000,000	満期解約R4. 4. 13	+986,301
投資信託	大和証券	円ハイブリット債券インカム	R4. 4. 21	150,000,000	売却R4. 6. 15	-960,047
定期預金	大和初ス銀行	セットプラン	R4. 4. 22	150,000,000	満期解約R4. 7. 21	+1,496,648
クレジット債	大和証券	ソフトバンクグループ債券	R4. 9. 28	100,000,000	※保有(R7. 1. 7満期)	+605,000
定期預金	大和初ス銀行	セットプラン	R4. 9. 28	100,000,000	満期解約R4. 12. 29	+998,701
E B債	ほくほくTT証券	小松製作所債券	R4. 9. 8	30,000,000	期限前償還R4. 12. 13	+364,934
クレジット債	大和証券	クレディスイス債券	R5. 2. 1	100,000,000	※保有(R6. 7. 8満期)	0
F A債	大和証券	楽天グループ社債	R5. 3. 2	96,118,287	※保有(R7. 12. 2満期)	0
計						+3,491,537

※は令和5年3月末時点で保有する運用資産 計 296,118,287 円

5) 整備事業等(1,000千円以上)

内容	事業所	金額
防犯カメラ追加設置	溪明園	1,958 千円
軽ワゴン車更新	溪明園	2,198 千円
睡眠管理システム導入	溪明園	1,782 千円
温冷配膳車更新	花椿	1,501 千円
大型洗濯機更新	花椿	1,870 千円
トイレ改修	花椿	15,477 千円
車両更新	花椿かがやき	3,570 千円

5 その他

1) 年度状況

- 4月 溪明園からまつの管理当直業務を見直し、夜間2名の職員体制へ変更する
出産祝金の創設
- 7月 コロナワクチン4回目接種開始
菓子工房メルヘン インスタグラム開設
- 10月 BCP方針(感染編)について事業所説明の実施
- 12月 一般社団法人シブヤフォントによるイベント“ご当地フォント”に参加する

2) 新型コロナウイルス感染症対応

(1) 感染者

事業所	対応期間	利用者 感染者数	内入院他	左期間 職員感染者数
障害者支援施設 溪明園からまつ	11/ 9～12/14	31人	2人	6人
障害者支援施設 溪明園あすなろ	11/25～12/27	28人	1人	6人
障害者支援施設 花椿きらめき	1/19～ 2/12	23人	0人	9人
ホームやつわ、あやこ、いすぎ	10/10～10/30	15人	0人	1人
ホーム柴田屋	8/22～ 9/ 7	2人	0人	0人
ホーム庄川	1/26～ 2/ 4	4人	0人	0人
ホームごごみ	10/29～11/21	3人	0人	5人

(2) 対応費用

総額：11,591,978円

感染対策費用：5,262,099円(感染予防消耗品、消毒用薬品他)

職員宿泊費用：2,035,500円(ホテルパークイン砺波)

職員手当等：4,294,379円(特殊作業手当1,853,000円、時間外手当他2,386,379円)

○コロナ関係費用富山県補助金額 5,084,000円

障害者支援施設 溪明園からまつ、障害者支援施設 溪明園あすなろ

1 職員研修 (単位：回)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
外部研修	16	25	22
内部研修	8	7	6
自己啓発研修	0	0	0

2 来園者

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
見学	2団体(個人)	2団体(個人)	0団体(個人)
ボランティア	2団体(個人)、37名	2団体(個人)、37名	2団体(個人)、21名
実習生			
大学	1人	0人	0人
短期大学	1人	0人	6人
専門学校	1人	0人	0人
高校	0人	0人	0人

3 利用者の状況

1) 在籍状況 (単位：人)

	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用
溪明園からまつ												
施設入所	40	4/7	35	35.8	40	2/1	36	35.6	40	2/3	35	34.9
生活介護	40	6/9	37	37.8	40	2/1	38	35.5	40	2/3	35	34.8
溪明園あすなろ												
施設入所	30	1/2	29	29.5	30	2/3	28	26.8	30	2/1	29	27.3
生活介護	30	1/2	29	29.5	30	2/3	29	27	30	2/2	29	27.2

2) 手帳等状況 (年度末) (単位：人)

	令和2年度					令和3年度					令和4年度				
	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分
	A	B				A	B				A	B			
溪明園からまつ															
施設入所	19	15	1	3	--	19	16	1	3	--	18	16	1	3	--
生活介護	21	15	1	3	4.3	21	16	1	3	4.1	18	16	1	3	4.1
溪明園あすなろ															
施設入所	28	1	0	5	--	26	2	0	5	--	26	3	0	4	--
生活介護	28	1	0	5	5.2	27	2	0	5	5.2	26	3	0	4	5.2

3) 出身地の状況 (年度末) (単位：人)

	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他
溪明園からまつ												
施設入所	7	8	5	15	7	9	4	16	7	8	4	16
生活介護	7	10	5	15	7	12	4	16	7	8	4	16
溪明園あすなろ												
施設入所	6	6	4	13	7	6	3	12	7	7	4	11
生活介護	6	6	4	13	7	7	3	12	7	7	4	11

4) 年齢別・男女別構成状況 (年度末現在) (単位:人)

	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	20歳未満	20歳～65歳	65歳以上	平均年齢(歳)	20歳未満	20歳～65歳	65歳以上	平均年齢(歳)	20歳未満	20歳～65歳	65歳以上	平均年齢(歳)
溪明園からまつ												
施設入所計	1	23	11	54	1	25	10	54	0	23	12	56.4
(男)	(1)	(15)	(6)	(52)	(1)	(16)	(6)	(54)	(0)	(15)	(7)	(56)
(女)	(0)	(8)	(5)	(57)	(0)	(9)	(4)	(54)	(0)	(8)	(5)	(58)
生活介護	1	25	11	53	1	27	10	53	0	23	12	56.4
(男)	(1)	(16)	(6)	(52)	(1)	(17)	(6)	(53)	(0)	(15)	(7)	(56)
(女)	(0)	(9)	(5)	(55)	(0)	(10)	(4)	(52)	(0)	(8)	(5)	(58)
溪明園あすなる												
施設入所計	0	25	4	49	1	22	5	49	0	25	4	48.7
(男)	(0)	(15)	(1)	(44)	(0)	(14)	(1)	(44)	(0)	(15)	(1)	(46)
(女)	(0)	(10)	(3)	(56)	(1)	(8)	(4)	(55)	(0)	(10)	(3)	(53)
生活介護	0	25	4	49	1	23	5	49	0	25	4	48.7
(男)	(0)	(15)	(1)	(44)	(0)	(14)	(1)	(44)	(0)	(15)	(1)	(46)
(女)	(0)	(10)	(3)	(56)	(1)	(9)	(4)	(55)	(0)	(10)	(3)	(53)

5) 短期入所及び日中一時支援事業利用延べ数 (単位:人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
溪明園からまつ			
短期入所	38	35	30
日中一時	0	0	0
溪明園あすなる			
短期入所	0	109	11
日中一時	0	0	0

4 行事・余暇支援等の実施状況

1) 主だった行事等の状況

活動内容	外出先
利用者旅行(コロナ禍につき代替行事)	近隣バスハイク、昼食会
保護者会旅行	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
夏祭り(コロナ禍につき代替行事)	事業所別ミニ夏祭り(保護者会助成)
ふれあい育成スポーツ大会	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
溪明園祭(コロナ禍につき代替行事)	事業所別ミニ園祭
餅つき大会	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
そば会食	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
厄払い(コロナ禍につき代替行事)	事業所別に当該者の厄を払い食事会

その他 定例行事等

面会日	月1回第2日曜日の面会日はコロナ感染防止の為中止
家庭交流日	月1回の家庭交流日はコロナ感染防止の為中止

2) 余暇支援等の状況

余暇支援プログラム	開催状況	備考
音楽療法	月2回	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
臨床美術	月1回	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
3B体操	月1回	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
レクリエーション	月1回	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
絵画クラブ	不定期	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
茶道クラブ	月1回	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
喫茶	月1回	コロナウイルス感染拡大防止の為中止

5 日中活動の状況について
班別活動内容

グループ名	人数	製品・商品等	活動内容	発注業者	備考
溪明園からまつ					
リサイクル班	11	リサイクル作業	アルミ缶潰し、 花壇整備	—	小矢部市内等 回収
軽運動班	21	軽運動・創作活動	ウォーキング、体操、 ぬり絵、貼り絵、作品作り	—	—
洗濯班	3	洗濯作業	洗濯に関する一連の作業	—	—
溪明園あすなる					
リサイクル班	6	リサイクル作業 リサイクル品（アルミ 缶、スチール缶、ダンボール 古紙、ペットボトル）	空缶回収、空缶潰し（アル ミ、スチール）、 古紙ペットボトル等回収	—	小矢部市内等 回収
	10	リサイクル作業、 ウォーキング、個別活動 他	空缶、古紙、ペットボトル 回収、ウォーキング、軽運 動、ぬり絵、貼り絵 他	—	小矢部市内等 回収
ひだまり班	7	個別活動、軽運動	介護予防体操（軽体操）、 レクリエーション、ぬり 絵、貼り絵 他	—	—
ウォーキング班	6	ウォーキング、装飾活 動、個別活動	ウォーキング、軽運動、装 飾活動 他	—	—

6 保健・給食関連状況

1) 健診等実施状況

嘱託医（精神科・内科）定期健診の他 健康診断、インフルエンザ予防接種
風疹抗体検査（対象者に限定）
新型コロナウイルスワクチン接種

2) 給食関連状況

対応食

(単位：人)

	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	糖尿病	高血圧	肝臓病	常時粥	糖尿病	高血圧	肝臓病	常時粥	糖尿病	高血圧	肝臓病	常時粥
溪明園からまつ	1	1	0	2	1	1	0	2	1	0	0	3
溪明園あすなる	0	0	0	4	0	0	0	3	0	0	0	2

	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	とろみ	きざみ	魚骨 抜き	とろみ	きざみ	魚骨 抜き	とろみ	きざみ	魚骨 抜き
溪明園からまつ									
施設入所	0	7	全食	0	7	全食	1	8	全食
生活介護	0	7	全食	0	7	全食	1	8	全食
溪明園あすなる									
施設入所	0	7	全食	0	5	全食	0	5	全食
生活介護	0	7	全食	0	5	全食	0	5	全食

7 防災避難訓練等実施状況

避難訓練実施状況

火災避難訓練 2 回 土砂災害避難訓練 0 回
不審者対応訓練 0 回

多機能型事業所 溪明園めるへん

1 職員研修

(単位：回)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
外部研修	7	14	13
内部研修	6	4	3
自己啓発研修	0	0	0

2 来園者

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
見学	5団体(個人)	4団体(個人)	4団体(個人)
ボランティア	0団体(個人)	0団体(個人)	0団体(個人)
実習生			
大学	0人	0人	1人
短期大学	0人	0人	0人
専門学校	0人	0人	0人
高校	3人	1人	2人

3 利用者の状況

1) 在籍状況

(単位：人)

	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用
生活介護	7	2/1	8	5.5	7	1/0	9	6.9	7	0/0	9	6.5
就労継続支援B型	13	0/2	13	13.9	13	0/1	12	11.8	13	1/0	13	11.8

2) 手帳等状況 (年度末)

(単位：人)

	令和2年度				令和3年度				令和4年度						
	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分
	A	B				A	B				A	B			
生活介護	7	1	0	3	4.2	7	2	0	3	4.4	7	2	0	3	4.6
就労継続支援B型	3	10	0	1	--	3	9	0	1	--	3	10	0	1	--

3) 出身地の状況 (年度末)

(単位：人)

	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他
生活介護	0	5	2	1	0	5	3	1	0	5	3	1
就労継続支援B型	3	4	5	1	2	4	5	1	2	5	5	1

4) 年齢別・男女別構成状況 (年度末)

(単位：人)

	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	20歳 未満	20歳 ～ 65歳	65歳 以上	平均 年齢 (歳)	20歳 未満	20歳 ～ 65歳	65歳 以上	平均 年齢 (歳)	20歳 未満	20歳 ～ 65歳	65歳 以上	平均 年齢 (歳)
生活介護 計	0	8	0	41	0	7	2	45	0	7	2	46
(男)	(0)	(5)	(0)	(46)	(0)	(4)	(2)	(51)	(0)	(4)	(2)	(52)
(女)	(0)	(3)	(0)	(33)	(0)	(3)	(0)	(34)	(0)	(3)	(0)	(35)
就労継続支援B型 計	0	10	3	48	0	9	3	48	1	9	3	47
(男)	(0)	(6)	(0)	(39)	(0)	(6)	(0)	(40)	(0)	(6)	(0)	(41)
(女)	(0)	(4)	(3)	(48)	(0)	(3)	(3)	(56)	(1)	(3)	(3)	(52)

5) 日中一時支援事業利用延べ数

(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
延べ利用者数	0	70	50

4 行事・余暇支援等の実施状況

主だった行事等の状況

活動内容	外出先
ごみゼロ運動	小矢部市内
小矢部市福祉大会販売	クロスランド小矢部
南谷公民館祭り販売	南谷公民館
農業祭販売	クロスランド小矢部
南砺市福祉大会販売	城端座
バスハイク	射水市方面

その他 定例行事等

開所日	7回
リズム教室	1回
ヨガ教室	6回
綾子地区ゴミ拾い活動	7回
おやつ作り	6回

5 日中活動の状況について

班別活動内容

グループ名	人数	製品・商品等	活動内容	発注業者	備考
生活介護	9	装飾品・貼り 絵・ビーズ	地域清掃（ゴミ拾い） ウォーキング・おやつ作り・装飾品・ビーズ等作成 個別活動（刺子、学習等）	—	—
就労継続支援 B型	13	クッキー・パン・ 焼菓子他 ボール洗浄、清掃	パン・焼菓子等製造、 同店舗及び外部販売、 ボール洗浄、清掃業務	店舗、ルリアン（石動 駅）、小矢部、砺波、南砺 各事業所 各種イベント 道の駅小矢部、小矢部土 木事務所、石動駅	店舗販売（メ ルヘン、ルリ アン）、イベ ント販売（直 販・委託・移 動）、道の駅、 旬菜市場ふく の里

6 保健関連状況

健診等実施状況

健康診断、インフルエンザ予防接種、新型コロナワクチン接種を実施

7 防災避難訓練等実施状況(令和3年度)

避難訓練実施状況 火災避難訓練 1回 地震避難訓練 1回 消火訓練 1回

障害者支援施設 花椿きらめき、障害者支援施設 花椿あおぞら

1 職員研修

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
外部研修	14回	20回	31回
内部研修	16回	24回	7回
自己啓発研修	0回	1回	0回

2 来園者

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
見学	2団体(個人)、12個人	9個人	0団体(個人)、10個人
ボランティア	0	1団体	1団体
実習生			
大学	1人	0人	0人
短期大学	2人	0人	2人
専門学校	1人	0人	0人
高校	3人	3人	5人

3 利用者の状況

1) 在籍状況

(単位：人)

	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用
花椿きらめき												
施設入所	30	1/1	30	28.8	30	2/2	30	30	30	2/2	30	29.1
生活介護	40	13/12	38	35.8	40	2/1	39	36.5	40	4/3	39	35.7
花椿あおぞら												
施設入所	30	3/3	30	29.3	30	0/0	30	30	30	2/2	30	29.6
生活介護	30	10/16	40	36	30	0/0	40	37.4	40	3/4	38	36.2

2) 手帳等状況 (年度末)

(単位：人)

	令和2年度					令和3年度					令和4年度				
	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分
	A	B				A	B				A	B			
花椿きらめき															
施設入所	27	2	1	4	--	24	5	1	4	--	24	5	1	3	--
生活介護	33	4	1	4	4.7	29	9	1	5	4.6	31	7	1	4	4.7
花椿あおぞら															
施設入所	27	2	1	3	--	28	1	1	3	--	28	1	1	3	--
生活介護	34	5	2	6	4.8	36	3	1	3	5	34	3	1	3	5

3) 出身地の状況 (年度末)

(単位：人)

	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他
花椿きらめき												
施設入所	8	3	10	9	7	4	9	10	7	4	8	11
生活介護	14	5	21	5	10	4	15	10	9	4	15	11
花椿あおぞら												
施設入所	9	1	15	5	9	1	15	5	8	1	14	7
生活介護	14	1	21	5	12	3	20	5	11	2	19	7

4) 年齢別・男女別構成状況 (年度末現在) (単位：人)

	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	20歳未満	20歳～65歳	65歳以上	平均年齢(歳)	20歳未満	20歳～65歳	65歳以上	平均年齢(歳)	20歳未満	20歳～65歳	65歳以上	平均年齢(歳)
花椿きらめき												
施設入所計	1	23	6	43	0	25	5	45	0	25	5	47
(男)	(1)	(23)	(6)	(43)	(0)	(25)	(5)	(45)	(0)	(25)	(5)	(47)
(女)	(0)	(0)	(0)	--	(0)	(0)	(0)	--	(0)	(0)	(0)	--
生活介護	2	30	6	41	0	33	6	43	0	34	5	43
(男)	(2)	(29)	(6)	(41)	(0)	(32)	(6)	(43)	(0)	(32)	(5)	(43)
(女)	(0)	(1)	(0)	(42)	(0)	(1)	(0)	(43)	(0)	(2)	(0)	(43)
花椿あおぞら												
施設入所計	0	27	3	43	1	26	3	43	1	26	3	43
(男)	(0)	(15)	(0)	(41)	(1)	(14)	(0)	(39)	(1)	(14)	(0)	(37)
(女)	(0)	(12)	(3)	(45)	(0)	(12)	(3)	(48)	(0)	(12)	(3)	(48)
生活介護	3	35	3	39	1	36	3	40	1	34	3	40
(男)	(2)	(19)	(0)	(35)	(1)	(19)	(0)	(36)	(1)	(19)	(0)	(35)
(女)	(1)	(16)	(3)	(43)	(0)	(17)	(3)	(44)	(0)	(15)	(3)	(46)

5) 短期入所及び日中一時支援事業利用延べ数 (単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
花椿きらめき			
短期入所	62	168	137
日中一時	14	6	93
花椿あおぞら			
短期入所	199	0	67
日中一時	78	213	200

4 行事・余暇支援等の実施状況

1) 主だった行事等の状況

活動内容	外出先
スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールドin花椿	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
井口夏祭り	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
城端曳山祭り・むぎや祭り	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
花椿祭	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
溪明園祭	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
福野歳の大手	コロナウイルス感染拡大防止の為中止

その他 定例行事等

来所日	無し
開所日	月1～3回程度

2) 余暇支援等の状況

余暇支援プログラム	開催状況	備考
臨床美術	月1回	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
軽運動	月1回	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
鳴子deダンス	月1回	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
エアロビクス	月1回	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
花椿カフェ	月1回	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
セラピードック	年3回	コロナウイルス感染拡大防止の為中止
理美容	適宜	
外出(買物・入浴・飲食等)	適宜	コロナウイルス感染拡大防止の為中止

5 日中活動の状況について
班別活動内容

グループ名	人数	製品・商品等	活動内容	発注業者	備考
障害者支援施設 花椿きらめき					
環境整備	11	アルミ缶 個別活動による作品（折り紙等）	資源回収・清掃・運動・散歩・レク体操・バスハイク・お茶会・おやつ作り、ボッチャ、ペガールボール等	林商店 ハリタ金属	重度・中軽度利用者
資源再生	7	アルミ缶 個別活動による作品（折り紙等）	アルミ缶プレス・清掃・運動・散歩・レク体操・バスハイク・お茶会・おやつ作り、ボッチャ、ペガールボール等	—	重度自閉症・行動障害利用者
芸術	12	個別活動による作品（貼り絵等）	個別活動（編み物・塗り絵・パズル・音楽鑑賞・DVD鑑賞等）・レク体操・散歩・ボッチャ・ペガールボール	—	高齢利用者・中軽度自閉症利用者
通所	9	個別活動による作品（貼り絵、壁装飾等）	軽運動・畑作業・ほっとあつとなんと体操・刺し子・装飾品作り・貼り絵・レク体操・バスハイク・お茶会・おやつ作りなど	—	高齢利用者・重度・中軽度自閉症利用者
障害者支援施設 花椿あおぞら					
みどり	15	黒豆・黒にんにく 乾燥にんにく・漬物加工品	黒豆生産・加工・販売 にんにく加工・販売	ふくの里 委託販売	重度・中軽度利用者（行動障害利用者）
		個別活動による作品（貼り絵、壁飾り等）	洗濯たたみ・環境美化 散歩・創作活動・貼り絵 体操・バスハイク・お茶会 おやつ作り・自立課題	職員販売	
はな	15	個別活動・散歩・ポチ袋 製作・にんにく、黒豆作業手伝い	環境美化・散歩 バスハイク・体力作り 自立課題・おやつ作り等	—	重度・中軽度利用者（行動障害・自閉症利用者）
通所	10	個別活動による作品（貼り絵、壁装飾等）	刺し子・装飾品作り・貼り絵・散歩・レク体操・バスハイク・お茶会・おやつ作り等、自立課題	—	重度・中軽度利用者（行動障害利用者）

6 保健・給食関連状況

1) 健診等実施状況

嘱託医定期健診（1回/月）の他 健康診断、インフルエンザ予防接種、歯科訪問診療を実施
新型コロナワクチン接種（きらめき事業所4回接種済み、あおぞら事業所5回接種済み）

2) 給食関連状況

対応食

（単位：人）

	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	とろみ	きざみ	魚骨抜き	とろみ	きざみ	魚骨抜き	とろみ	きざみ	魚骨抜き
花椿きらめき									
施設入所	0	5	--	2	8	--	1	7	--
生活介護	0	0	--	2	8	--	1	7	--
花椿あおぞら									
施設入所	1	11	--	2	12	--	3	11	--
生活介護	0	1	--	2	13	--	3	11	--

7 防災避難訓練等実施状況

避難訓練実施状況

火災避難訓練 2 回

多機能型事業所 花椿かがやき

1 職員研修

(単位：回)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
外部研修	7	15	11
内部研修	2	3	5
自己啓発研修	0	0	0

2 来園者

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
見学	0団体(個人)	9団体(個人)	8団体(個人)
ボランティア	0団体(個人)	0団体(個人)	0団体(個人)
実習生			
大学	3人	1人	2人
短期大学	1人	1人	2人
専門学校	2人	0人	0人
高校	5人	3人	0人

3 利用者の状況

1) 在籍状況

(単位：人)

	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用	定員	入所/ 退所	年度 末	平均 利用
生活介護	14	1/3	12	10.4	14	1/3	12	11.7	14	1/0	13	11.5
就労継続支援B型	12	3/1	15	13.3	17	3/1	14	12.8	17	4/0	18	15
就労定着支援	6	--	2	2	6	--	1	2	0	--	0	0

2) 手帳等状況 (年度末)

(単位：人)

	令和2年度				令和3年度				令和4年度						
	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分	療育 手帳		精神障 害者保 健福祉 手帳	身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分
	A	B				A	B				A	B			
生活介護	7	5	1	1	3.6	7	5	1	1	3.6	7	5	1	1	3.8
就労継続支援B型	1	13	1	1	--	2	12	1	1	--	2	15	1	1	--

3) 出身地の状況 (年度末)

(単位：人)

	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他
生活介護	2	0	10	0	2	1	9	0	2	1	10	0
就労継続支援B型	5	3	7	0	6	2	6	0	7	2	9	0

4) 年齢別・男女別構成状況 (年度末現在)

(単位：人)

	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	20歳 未満	20歳 ～ 65歳	65歳 以上	平均 年齢 (歳)	20歳 未満	20歳 ～ 65歳	65歳 以上	平均 年齢 (歳)	20歳 未満	20歳 ～ 65歳	65歳 以上	平均 年齢 (歳)
生活介護 計	1	11	0	36	0	11	1	38	0	12	1	38
(男)	(1)	(6)	(0)	(34)	(0)	(6)	(1)	(37)	(0)	(6)	(1)	(38)
(女)	(0)	(5)	(0)	(39)	(0)	(5)	(0)	(40)	(0)	(6)	(0)	(38)
就労継続支援B型 計	0	9	6	49	0	10	4	48	1	12	5	48
(男)	(0)	(5)	(6)	(57)	(0)	(6)	(4)	(54)	(1)	(8)	(5)	(51)
(女)	(0)	(4)	(0)	(34)	(0)	(4)	(0)	(38)	(0)	(4)	(0)	(35)

5) 日中一時支援事業他利用延べ数 (単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
日中一時支援	195	256	285
移動支援	3	4	0
居宅介護	2	3	0
行動援護	0	0	0

4 行事・余暇支援等の実施状況(令和3年度)

主だった行事等の状況

活動内容	外出先
八塚地区児童クラブとの交流会	八塚公民館
利用者旅行	井波方面/高岡方面/氷見方面3班編成で実施
縁の木ボランティア、古切手収集	南砺市社会福祉協議会井波支所/南砺つばき学舎
開所日(各月1~2回)	かがやき事業所/南砺市内
キッチンかがやき1周年記念	キッチンかがやき
ばーと◎とやま主催:cotaeネットワーク(商品開発/販売)	富山障害者芸術活動普及支援センターばーと◎とやま/高岡市美術館
ものがたりの街美術館展	ものがたりの街
『闇から光へ』作品展	砺波市役所
南砺市福祉大会(発表/販売)	じょうはな座
ご当地フロント	かがやき事業所

その他 定例行事等

ヨガ教室	7回
リズム体操	1回
保護者個別面談	1回
工賃支給スペシャルおやつデイ	月1回

5 日中活動の状況について(令和3年度)

班別活動内容

グループ名	人数	製品・商品等	活動内容	発注業者	備考
生活介護	13	布製品、手芸品、 雑貨、味噌	ボランティア活動、創 作活動、セルフ協販 売、地域交流活動 味噌製造	--	--
就労継続支援B 型	17	キッチンかがや き弁当	企業内実習、チャー リップ除根、内職作 業、味噌販売、弁当製 造、他店舗販売、野菜 収穫	--	--

6 保健・給食関連状況

1) 健診等実施状況

健康診断、インフルエンザ予防接種、コロナワクチン接種実施

2) 給食関連状況

対応食

(単位：人)

	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	とろみ	粗 きざみ	きざみ	極小 きざみ	とろみ	粗 きざみ	きざみ	極小 きざみ	とろみ	粗 きざみ	きざみ	極小 きざみ
対象人数	0	0	0	0	0	4	0	0	0	6	0	0

7 防災避難訓練等実施状況

避難訓練実施状況

火災避難訓練 2 回

グループホーム

ホームやつわ(ホームあやこ、ホームいするぎ)
 ホーム柴田屋(ホーム柴田屋みなみ、ホーム庄川、ホーム庄川第2)
 日中サービス支援型ホームごごみ

1 利用者の状況

1) 在籍状況

(単位：人)

	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	定員	入所/ 退所	年度末 在籍数	平均利 用者数	定員	入所/ 退所	年度末 在籍数	平均利 用者数	定員	入所/ 退所	年度末 在籍数	平均利 用者数
ホームやつわ	19	0/2	15	16.2	19	3/0	18	17.2	19	0/0	18	18.0
ホーム柴田屋	23	2/2	23	22.2	23	2/3	22	22.1	23	2/3	21	22.1
ホームごごみ	20	16/0	16	11.2	20	4/1	19	18.4	20	1/2	18	17.7

2) 手帳等状況 (年度末)

(単位：人)

	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	療育 手帳		身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分	療育 手帳		身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分	療育 手帳		身体障 害者手 帳	平均障 害支援 区分
	A	B			A	B			A	B		
ホームやつわ	4	11	2	3	4	14	2	2.8	4	14	2	2.8
ホーム柴田屋	2	21	2	3.2	2	17	2	3.2	2	17	2	3.2
ホームごごみ	7	9	3	4.8	11	7	5	4.8	9	7	5	5

3) 出身地の状況 (年度末)

(単位：人)

	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他	砺波市	小矢部 市	南砺市	他
ホームやつわ	2	3	8	2	2	4	10	2	2	4	10	2
ホーム柴田屋	6	3	13	1	8	2	11	1	7	3	10	1
ホームごごみ	3	6	4	3	4	6	6	3	4	5	7	2

4) 年齢別・男女別構成状況 (年度末現在)

(単位：人)

	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	20歳 未満	20歳 ～ 65歳	65歳 以上	平均 年齢 (歳)	20歳 未満	20歳 ～ 65歳	65歳 以上	平均 年齢 (歳)	21歳 未満	20歳 ～ 65歳	65歳 以上	平均 年齢 (歳)
ホームやつわ	0	11	4	55.8	0	12	6	54.5	0	12	6	55.5
(男)	(0)	(6)	(0)	--	(0)	(6)	(2)	--	(0)	(6)	(2)	--
(女)	(0)	(5)	(4)	--	(0)	(6)	(4)	--	(0)	(6)	(4)	--
ホーム柴田屋	0	16	7	53.4	0	16	6	53.5	0	14	7	54
(男)	(0)	(10)	(7)	--	(0)	(10)	(6)	--	(0)	(6)	(7)	--
(女)	(0)	(6)	(0)	--	(0)	(6)	(0)	--	(0)	(6)	(0)	--
ホームごごみ	0	3	13	70.1	0	4	15	69.3	0	5	13	68.6
(男)	(0)	(2)	(6)	--	(0)	(2)	(7)	--	(0)	(3)	(6)	--
(女)	(0)	(1)	(7)	--	(0)	(2)	(8)	--	(0)	(2)	(7)	--

2 防災避難訓練等実施状況(令和4年度)

避難訓練実施状況

	火災避難訓練	水害避難訓練
ホームやつわ (やつわ、あやこ、いするぎ)	住居各各1回	---
ホーム柴田屋 (柴田屋、柴田屋みなみ、庄川、庄川第2)	住居各各2回	ホーム柴田屋1回
ホームごごみ	2回	

放課後等デイサービス事業所 きつずるーむクローバー

1 職員研修

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
外部研修	3回	6回	11回
内部研修	9回	2回	2回
自己啓発研修	0回	0回	0回

2 来園者

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
見学	15団体(個人)	18団体(個人)	17団体(個人)
ボランティア	5団体(個人)	4団体(個人)	3団体(個人)
実習生			
大学	0人	0人	1人
短期大学	0人	0人	0人
専門学校	0人	0人	0人
高校	0人	0人	0人

3 利用者の状況

1) 在籍状況

(単位：人)

	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	定員	入所/ 退所	年度末 在籍数	平均利 用者数	定員	入所/ 退所	年度末 在籍数	平均利 用者数	定員	入所/ 退所	年度末 在籍数	平均利 用者数
在籍状況	10	--	28	8.6	10	--	32	10.7	10	--	32	10.7

2) 年齢別・男女別構成状況 (年度末現在)

(単位：人)

	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	6歳～ 12歳	13歳 ～ 15歳	16歳 ～ 18歳	他	6歳～ 12歳	13歳 ～ 15歳	16歳 ～ 18歳	他	6歳～ 12歳	13歳 ～ 15歳	16歳 ～ 18歳	他
計	25	2	1	0	24	7	1	0	26	5	1	0
(男)	(20)	(1)	(1)	(0)	(18)	(5)	(1)	(0)	(20)	(5)	(0)	(0)
(女)	(5)	(1)	(0)	(0)	(6)	(2)	(0)	(0)	(6)	(0)	(1)	(0)

3) 障害種別ごとの利用状況

(単位：人)

	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	身体 障害	知的 障害	発達 障害	他	身体 障害	知的 障害	発達 障害	他	身体 障害	知的 障害	発達 障害	他
計	2	7	25	2	2	8	27	2	2	8	27	2
(男)	(1)	(4)	(20)	(1)	(1)	(5)	(22)	(1)	(1)	(5)	(22)	(1)
(女)	(1)	(3)	(5)	(1)	(1)	(3)	(5)	(1)	(1)	(3)	(5)	(1)

4 サービス提供状況

	日常生活訓練	社会適応訓練	運動・音楽・レク活動	創作活動	季節行事 他
4月	茶道教室 買い物学習	図書館、柳瀬体育 館、公園、高瀬神社	運動、楽器遊び、エ アロビ、ドライブ、 手話ダンス、ヒップ ホップ	作品作り、おや つ作り	お誕生会、進級 祈願、壁面装 飾、花見
5月	茶道教室 育てよう	図書館、柳瀬体育 館、公園	運動、楽器遊び、エ アロビ、ドライブ、 手話ダンス、ヒップ ホップ	作品作り、おや つ作り	お誕生会、壁面 装飾、いちご狩 り
6月	茶道教室 育てよう	図書館、柳瀬体育 館、公園	運動、楽器遊び、エ アロビ、ドライブ、 手話ダンス、ヒップ ホップ	作品作り、おや つ作り	お誕生会、壁面 装飾、ひまわり 播種(ものがたり の街)

7月	茶道教室 育てよう	公園	運動、楽器遊び、エアロビ、ドライブ、手話ダンス、ヒップホップ	作品作り、おやつ作り、臨床美術	お誕生会、壁面装飾、七夕クイズ
8月	お楽しみランチ 茶道教室 育てよう	図書館、避難訓練 (火災)、高瀬神社	運動、楽器遊び、エアロビ、ドライブ、手話ダンス、音楽療法、ヒップホップ	作品作り、おやつ作り、ハーバリウム教室	お誕生会、壁面装飾、夏祭りランチ、釣りフェス、進級祈願
9月	茶道教室 育てよう	図書館、柳瀬体育館、公園	運動、楽器遊び、エアロビ、ドライブ、手話ダンス、ヒップホップ	作品作り、おやつ作り	お誕生会、壁面装飾、芋ほり(東開発環境保全会さん)、お月見クイズ
10月	買い物学習 育てよう	図書館、柳瀬体育館、公園	運動、楽器遊び、エアロビ、ドライブ、手話ダンス、ヒップホップ	作品作り、おやつ作り、段ボールお絵かき	お誕生会、壁面装飾、お楽しみハロウィン、芋ほり(東開発環境保全会さん)
11月	買い物学習	図書館、柳瀬体育館、公園	運動、楽器遊び、エアロビ、ドライブ、手話ダンス、ヒップホップ	作品作り、おやつ作り	お誕生会、壁面装飾
12月	買い物学習 災害講習会(水害)	図書館、柳瀬体育館、避難訓練(水害)	運動、楽器遊び、エアロビ、ドライブ、音楽療法、ヒップホップ	作品作り、おやつ作り、段ボールお絵かき、プリアーズドフラワー教室	お誕生会、壁面装飾、クリスマス会年賀状、餅つき
1月	買い物学習	図書館、高瀬神社、柳瀬体育館	運動、楽器遊び、エアロビ、ドライブ、ヒップホップ	作品作り、おやつ作り	初詣、壁面装飾、お楽しみ新年会、鏡餅開き、すごろく遊び、お誕生会
2月	買い物学習	柳瀬体育館	運動、楽器遊び、エアロビ、手話ダンス、ヒップホップ	作品作り、おやつ作り	壁面装飾、節分(豆まき)スイートクイズ、お誕生会
3月	買い物学習	図書館、避難訓練(地震)、柳瀬体育館	運動、楽器遊び、エアロビ、ドライブ、手話ダンス、ヒップホップ	作品作り、おやつ作り	ひな祭りクイズ、壁面装飾、お楽しみ反省会、お誕生会

5 防災避難訓練等実施状況

避難訓練実施状況

火災避難訓練	1回
水害避難訓練	1回
地震緊急速報対応訓練	1回

放課後等デイサービス事業所 きつづる一むこごみ

1 職員研修

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
外部研修	--	7回	8回
内部研修	--	5回	1回
自己啓発研修	--	0回	0回

2 来園者

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
見学	--	3団体(個人)	4団体(個人)
ボランティア	--	0団体(個人)	0団体(個人)
実習生			
大学	--	0人	1人
短期大学	--	0人	0人
専門学校	--	0人	0人
高校	--	0人	0人

3 利用者の状況

1) 在籍状況

(単位：人)

	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	定員	入所/ 退所	年度末 在籍数	平均利 用者数	定員	入所/ 退所	年度末 在籍数	平均利 用者数	定員	入所/ 退所	年度末 在籍数	平均利 用者数
在籍状況	--	--	--	--	10	--	18	6.3	10	2/1	19	10.2

2) 年齢別・男女別構成状況 (年度末現在)

(単位：人)

	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	6歳～ 12歳	13歳 ～ 15歳	16歳 ～ 18歳	他	6歳～ 12歳	13歳 ～ 15歳	16歳 ～ 18歳	他	6歳～ 12歳	13歳 ～ 15歳	16歳 ～ 18歳	他
計	--	--	--	--	12	6	0	0	11	4	4	0
(男)	--	--	--	--	(12)	(4)	(0)	(0)	(11)	(4)	(2)	(0)
(女)	--	--	--	--	(0)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2)	(0)

3) 障害種別ごとの利用状況

(単位：人)

	令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	身体 障害	知的 障害	発達 障害	他	身体 障害	知的 障害	発達 障害	他	身体 障害	知的 障害	発達 障害	他
計	--	--	--	--	1	10	7	0	1	10	7	1
(男)	--	--	--	--	(1)	(8)	(7)	(0)	(1)	(8)	(7)	(1)
(女)	--	--	--	--	(0)	(2)	(0)	(0)	(0)	(2)	(0)	(0)

4 サービス提供状況

	日常生活訓練	社会適応訓練	運動・音楽・レク活動	創作活動	季節行事 他
4月	野菜作り	買物、ドライブ、公園	キックボード、一輪車、トランポリン、くねくねスロープ	作品作り、アイロンビーズ	お花見、こいのぼり製作 島尾海岸
5月	野菜作り 収穫	買物、ドライブ、公園	キックボード、くねくねスロープ、コマ、宝探しゲーム	作品作り、塗り絵	押し花
6月	野菜作り	買物、ドライブ、公園	キックボード、工作、新聞遊び、ドッジボール	作品作り	竹・梅採り、昆虫採取、七夕飾り、紙芝居
7月	野菜作り 収穫	買物、バスハイク、公園	キックボード、パランスボール、水遊び、シャボン玉	作品作り、おやつ作り	七夕、昆虫採取 海、プール、水記念公園

8月	野菜作り 収穫	動物園、買物、バス ハイク、避難訓練、 公園	キックボード、ボー リング、DVD鑑賞	作品作り、おや つ作り	かき氷、昆虫採 取 千里浜、氷見ラ ボ、水記念公 園、新湊大橋
9月	野菜作り 収穫	図書館、買物、ドライ ブ、公園	キックボード、バド ミントン、かるた遊 び、ゲーム遊び	作品作り	氷見ラボ
10月	野菜作り	動物園、買物、公園、 ドライブ	キックボード、一輪 車、音楽、かるた遊 び、ゲーム遊び	作品作り	秋探し 海王丸、氷見ラ ボ
11月	野菜作り	図書館、買物、公 園、ドライブ、	キックボード、音 楽、トランポリン、 ストラックアウト、 手押し相撲、ゲーム 遊び	作品作り、おや つ作り、アイロ ンビーズ、絵画	银杏拾い、クリ スマス装飾づく り
12月		図書館、買物	キックボード、音 楽、ボーリング、ス トラックアウト、け ん玉	作品作り、アイロ ンビーズ、絵画	クリスマス会、 ジャンボかるた
1月		図書館、買物、公園	キックボード、音 楽、DVD鑑賞、ソリ遊 び、段ボール遊び、 トランプ、プラレール	作品作り、おやつ 作り	ジャンボかるた
2月		図書館、買物、公園	キックボード、一輪 車、プラレール、け ん玉、風船バレー、 プールスティック	作品作り、アイロ ンビーズ	
3月		バスハイク、買物、避 難訓練	自転車、キックボー ド、凧あげ	作品作り、アイ ロンビーズ	万葉線の旅、氷見 ラボ水族館、島尾 公園、新湊大橋

5 防災避難訓練等実施状況

避難訓練実施状況

火災避難訓練	2回
水害避難訓練	0回
地震緊急速報対応訓練	0回

障がい者サポートセンターきらり

1 障害児等療育支援事業

事業実施件数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
訪問療育等指導	0	14	5
外来療育等指導	28	16	24
施設支援療育等指導	2	13	11
計	30	43	40

2 相談支援事業

相談支援を利用している障害者等の人数

(単位：人)

	令和2年度								令和3年度								令和4年度							
	身体	知的	精神	発達	高次機能	重症心身	他	計	身体	知的	精神	発達	高次機能	重症心身	他	計	身体	知的	精神	発達	高次機能	重症心身	他	計
障害者	19	271	46	9	1	8	2	356	21	271	45	17	1	8	2	365	32	262	49	14	1	10	2	370
障害児	3	51	0	26	0	5	3	88	5	55	0	30	0	5	0	95	6	60	0	39	0	4	0	109
計	22	322	46	35	1	13	5	444	26	326	45	47	1	13	2	460	38	322	49	53	1	14	2	479

3 障害者就業・生活支援センター事業

事業実施件数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
支援対象者登録数	482	514	520
支援対象者への相談、支援件数	3,117	3,211	3,276
内訳 就職に向けた相談・支援	(524)	(690)	(616)
職場定着に向けた相談・支援	(673)	(765)	(507)
日常生活、社会生活に関する相談・支援	(4)	(0)	(2)
就業と生活の両方にわたる相談	(1,916)	(1,756)	(2,151)
実習の斡旋件数	16	32	32
就職件数	29	30	22
職場訪問による職場定着支援の実施件数	313	402	368

砺波圏域障害者基幹相談支援センター

1 総合的・専門的な相談支援

1) 障がい別相談者数（人数）

	令和2年度							令和3年度							令和4年度						
	砺波市	小矢部市	南砺市	県内	県外	不明	計	砺波市	小矢部市	南砺市	県内	県外	不明	計	砺波市	小矢部市	南砺市	県内	県外	不明	計
身体障害	0	23	1	2	0	0	26	0	0	1	3	3	0	7	1	1	1	2	0	0	5
重症心身	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害	20	3	0	0	0	0	23	213	16	35	0	0	0	264	415	1	2	0	0	0	418
精神障害	26	0	26	0	0	0	52	54	9	2	0	0	0	65	206	5	4	0	0	0	215
発達障害	87	62	0	10	0	0	159	68	30	3	0	29	0	130	159	54	0	0	0	0	213
高次脳機能障害	1	0	5	0	0	0	6	15	0	0	0	0	0	15	30	0	0	0	0	0	30
難病等	5	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援機関等	200	59	50	51	0	21	381	205	124	141	185	0	9	664	290	202	180	185	32	4	893
計	339	147	82	63	0	21	652	555	179	182	188	32	9	1145	1101	263	187	187	32	4	1774

2) 相談者別相談件数（延件数）

	令和2年度							令和3年度							令和4年度						
	砺波市	小矢部市	南砺市	県内	県外	不明	計	砺波市	小矢部市	南砺市	県内	県外	不明	計	砺波市	小矢部市	南砺市	県内	県外	不明	計
家族	29	11	7	5	0	1	53	25	15	2	0	0	0	42	68	19	4	1	0	0	92
本人	20	9	6	0	0	2	37	208	26	6	3	7	8	258	458	26	3	2	0	4	493
福祉担当課	27	15	31	1	0	0	74	44	26	51	25	0	0	146	67	34	32	25	0	0	158
こども課	5	0	0	0	0	0	5	8	0	2	3	0	0	13	76	0	1	0	0	0	77
民生・児童委員	0	1	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0	0	4	9	0	0	0	0	0	9
サービス事業所	24	32	21	15	0	6	98	62	34	51	26	19	0	192	171	107	111	38	2	0	429
相談事業所	209	74	23	24	0	5	335	122	67	45	117	0	0	351	89	84	45	70	3	0	291
支援学校	6	0	1	1	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	10	0	0	13
医療機関	1	3	0	8	0	0	12	18	0	0	2	6	0	26	43	5	5	7	0	0	60
その他	60	8	8	10	0	9	95	110	30	38	35	0	1	214	221	25	11	53	27	0	337
計	381	153	97	64	0	23	718	599	199	196	211	32	9	1246	1202	301	214	206	32	4	1959

※ 本人に複数の支援者、関係機関等が関与するため件数が膨らむ

3) 研修

外部研修参加数（オンライン研修含む）	延73名
--------------------	------

2 地域の相談支援体制の強化

相談支援事業所への助言等件数	291回
研修会開催	個別ケア検討会
講師派遣	県立支援学校、砺波市地域包括支援センター、砺波市社協等
	4回
	延44名
	13回

3 地域移行・地域定着の促進

精神障害者地域移行（退院）支援連絡会参加	1回
精神科病院と相談支援事業所との連絡会	1回

4 権利擁護・虐待防止に関する啓発

相談件数	47件
研修会開催	障害者福祉施設従事者等のための虐待防止に関する研修会
	133名

5 自立支援協議会への参加協力

基幹センター事業報告	本会議	1回
協議会協力	運営会議、相談支援事業所連絡会、サービス事業所連絡会、権利擁護・虐待防止委員会	19回
協議会参加	本会議、当事者委員会、地域生活支援部会、障害者差別解消支援委員会	11回
協議会情報公開	ホームページによる活動報告等	7回

6 その他

センター事業説明	小矢部市民生委員・児童委員、高齢福祉推進員、地区社協合同研修会	3回
地域生活支援拠点等整備協力	ガイドライン案説明協力	2回
	認定申請事前相談協力	7事業所
	認定事前ヒヤリング協力	6事業所